

巻頭
特集

自然の中で収穫体験

夏の

味賞狩り

季節や場所を問わず、いつでもおいしい果物が手に入る時代。

便利で豊かな暮らしの一方、旬や食べごろ、
実りの様子などを知らない子どもも多いのでは？
楽しみながら旬を感じ、果物本来の匂いや香り、
カタチに触れられる収穫体験。
普段食べている果物がどう栽培されているのかを
知るにも絶好の機会。
さあ、家族で味賞狩りに出かけよう！



教えてくれたのは

原田農園
佐藤宗耶さん

体験したのは

平里予さんファミリー
奈々ママ・大土パパ
夏向くん(6歳)・
壮太くん(2歳)・
緋太くん(0歳)



撮影 / スタジオ筆写

BLUEBERRY



ボクもとれるよ



紫の実を探そう

摘みたての実が最高にフルーティー

続いて訪れたのは、6月下旬〜8月に旬を迎えるブルーベリー園だ。

桃に比べて、木は高くなく、子どもたちも摘みとりやすい。紫色に熟した実をひと口食べて、「すくく甘い。いつものブルーベリーはもっと酸っぱいよね？」と夏向くん。ブルーベリーは摘みたてが一番おいしい果物。日が経つにつれ、味が徐々に変わっていく。畑で完熟した実をその場



たくさんとれた!



で摘みとって食べるのが、本来のブルーベリーの味なのだ。壮大くんもバクバクと満足そう。「おいしい果物を育てるためには、肥料を与えたり、日が当たるよう木を剪定したり。虫や動物、病気、自然災害からも守ってあげることが大切なんだ」と佐藤さん。「農園の方々が丹精込めて育てた果物だと思えば、一層おいしさが増しますね」とパパとママも笑顔。桃とブルーベリーでビタミンをたっぷり摂取。五感をフル回転させて味覚狩りを楽しんだ平野さん一家だった。

QUIZ

種が木になって実をつけるまで何年かかるか、知ってる?

ミカン	カキ	ナシ	ブドウ
サクランボ	モモ	リンゴ	
ブルーベリー			

答えはこちら



いっぱいなってる~

大きいとるぞ!!



これに決めた!

PEACH



おいしい桃の見分け方を教えてもらったよ



味覚狩りの様子をのぞいてみよう!



やさしくもぐよ

どの桃にしようかな



甘い香りの桃園でたくさんの発見



おいしい!

平野さん親子がまず向かったのは甘い香りが立ち込める桃園。桃は7〜8月が収穫のピークだ。「わー、桃が木になってるよ」と大興奮の夏向くん。お店で見るのはフルーツキャップを被った桃。木になっているのを見るのは初めてだ。同じ木でも、実の色や大きさはさまざま。「どれを選ぶの?」と迷う奈々ママ。「太陽がよく当たる場所にあって、色づきのいい桃がおいしいよ」と農園の佐藤さんが教えてくれた。桃を観察していた夏向くんは「あれ、毛がはえてる」と不思議顔。桃の表面にある産毛は水をはじいた夏向くんは「あれ、毛がはえてる」と不思議顔。桃の表面にある産毛は水をはじいた夏向くんは「あれ、毛がはえてる」と不思議顔。桃の表面にある産毛は水をはじいた夏向くんは「あれ、毛がはえてる」と不思議顔。



おいしそうなお桃がとれたよ

たり、虫を遠ざけたりして、実を守る役割をするそう。桃は柔らかいから、やさしく両手でつかんで、そのまま垂直に下ろしながらもぐ。「お尻みたいな形だね」。壮大くんのコメントに一同大笑い。「桃はもぎたてよりも、常温で1〜2日追熟させた方がおいしいよ」と佐藤さん。前日にもいだ桃を試食したところ、「甘〜い!」と全員笑顔。